

自 粛 期 間

の 取 り 組 み

コロナで激変した新歓の在り方

オンライン新歓

毎年4月に入ると3週間ほど新入生勧誘活動が行われる。例年、体験練習会ではミット蹴りリレーや演武鑑賞会、イベントでは焼肉やパフェ会、ボウリング大会など充実した内容が盛りだくさんであった。しかし、今年はどうか。新型コロナウイルスの影響で大学の授業が全てオンラインとなった。「え？新入生は学校にこないの？」そう。来ることはない。一生に一度の大学生活、期待に胸を膨らませ入学した新入生に、充実した4年間を過ごすのにもってこいの「少林寺拳法部」を知ってもらえないのは勿体無い。そんな気がかりを払拭すべく、我々は動き出す。



オンライン交流会の様子。



Doshisha Univ.

STEP1. 世はSNSの時代

3月に対面授業の延期が告げられ、それに伴い新歓の延期を覚悟した私たち。じゃあ新歓はいつやるの？今でしょ。今である。他の団体が動き出す前に。そこで私たちはSNSでの勧誘活動に重点を置き、早速コンテンツ内容を決めて撮影に取り掛かり、できるうちにたくさん「撮り溜め」をした。結果は成功。緊急事態宣言発令で自宅待機となってしまうが、撮り溜めた動画のおかげで、我が部の魅力を十分にアピールしながら毎日配信することができた。クラブ説明会の内容を小分けでポップにした動画から新入生エール動画まで、内容は多岐に渡る。その中でも特に反響が大きかったのは、お笑い芸人のネタを少林寺拳法風にアレンジしたエンタメ動画か。



新入生エール動画。

STEP2. YouTubeでのコラボレーション

「良い子のみんな！今日は楽しく歌って強くなるうー！」お笑い芸人クロコップさん（ケイダッシュステージ所属）の『空手家の子』というネタを少林寺拳法風にアレンジした動画がツイッター上で反響を呼ぶ。それはやがてクロコップさん本人の元へと届き、YouTubeでのコラボレーション動画作成のお話をいただくこととなる。断るという選択肢など無い。私たちは、我が部をたくさんの人に知ってもらうことができる良い機会だと思い、喜んで引き受けた。そして、このことは一般財団法人少林寺拳法連盟からも、評価をいただき共に、多くのOB・OGの方々から称賛をいただいた。



リンク: https://youtu.be/AMITG_My2f0

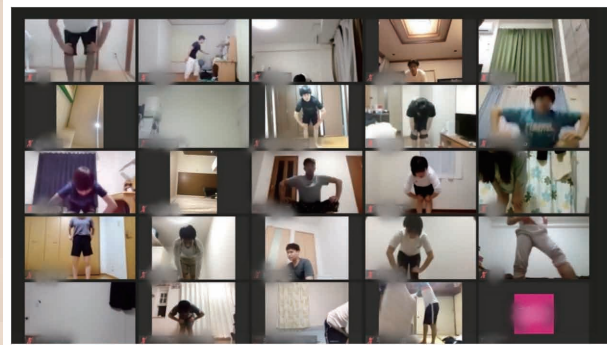
STEP3. 勧誘活動はオンラインだってできる



体育会少林寺拳法部
経験者会

新入生もオンラインでの授業に慣れ始めてきた5月半ば。私たちはオンライン上で新入生と交流を図る。しかし、新入生にとって全く見知らずの先輩と交流するなど、ハードルが高すぎる。そのハードルを越えてでも参加したい。そう思ってもらえるような会を開催すべく、新入生のニーズをSNSで調査。我が部の魅力をアピールするための交流会に加え、オンライン体験練習会、学部別交流会を行った。これ以外にも下宿会や初心者会など、多くの会を開催した。学部別交流会は他のどの団体よりも人数が集まったのではないだろうか。

オンライン練習



オンライン練習の様子。

(文章・北田 愛)

対面での活動自粛を余儀なくされていた中、「今できることをやり抜く」という幹部の強い想いから、「チームワークの維持」と「筋力・体幹・柔軟性の維持・向上」を目的に、5月11日からZoomを用いたオンライン練習が開始された。内容は柔軟や筋力トレーニング、有酸素運動など自宅でもできるメニューが中心だ。主座は1週間ごとの交代制となっていて、次期幹部である私も担当した。私が担当する頃には、オンライン練習開始から1ヶ月が経っており、徐々に中だるみし始める時期になっていた。そこで「有意義かつ飽きないメニューを！」と、試行錯誤した結果、山本（スボ健3）が提案してくれた「タバタ式トレーニング」というものを取り入れることにした。これは有酸素運動と無酸素運動の両方の効果を得ることができる優れたものだ。そのためこれらの運動の組み合わせである演武においても最適な基礎トレーニングとなっている。運動不足の身体にはとてもキツく、私自身も手を抜いてしまいうことになる場面もあったが、画面に映る部員の懸命な姿に感化され踏み張ることができた。オンライン上ではあったが、まさに道場でいうトレーニングのようにチームが一体となる時間であった。

現役部員に尋ねてみると、「コロナ禍で自粛期間が続く中、みんなと顔を合わせて練習するのは運動不足だけではなくストレスの解消にもなった。」と平井（生命2）。

このように前例の無い制限が数多くあったが、それでもワンチームで乗り越えた2020年春シーズンであった。

試 行 期 間

の 取 り 組 み

7月1日。約3ヶ月間静寂に包まれていた真誠館が活気を取り戻す。7月1日から7月20日までの間で大学側から試行期間として活動再開の承認が下り、ようやく少林寺拳法ができる時が来た。しかし、練習が始まったとは言え何でもできるという訳では無い。大学や一般財団法人少林寺拳法連盟から出されているガイドラインに則り、部で定められたルールに従った上での活動となる。換気・消毒・検温・マスクの着用・2mの間隔の確保等に注意し、1時間半という限られた時間内で単独での練習をメインに行った。「え！？単独での練習をメイン！？」ということは、相對練習もするってこと！？2mの間隔の確保に注意するんじや無かったの！？」得意げに答えた。「前ちゃん2020」の存在を。ここで前ちゃん2020の紹介をしよう。前ちゃんは言わずもがな開発者である我が部の監督の名に由来している。そして見た目は1本の棒であるが、ただの棒ではない（写真参照）。接触が見えないこの状況で大役を果たしている。これを拳に見立て練習をするのだ。実際使ってみると本物の拳より突きが速く意外と怖い（笑）。いや、制限がある中でも上手く活動できている私たちにとって怖いものなど無い。久しぶりの少林寺拳法は非常に楽しく、3週間という時間はあっという間に過ぎた。そんな試行期間であった。

自粛明けの作務の様子。



前ちゃん2020。



前ちゃん2020作成中。